

非対称な気づきの下でのゲーム的状况のやり直しと Generalized Nash

Equilibrium の認識的安定性との関係に関する考察

—Replayed Games with Unawareness の定式化—

中央大学大学院経済学研究科

多田 由彦

本稿は主体の全知性の仮定を緩めた Games with Unawareness の分析アプローチの 1 つである awareness correspondence モデル (AC モデル) に焦点を当て、AC モデルでは繰り返しゲームの定義に反しない形でゲームの繰り返しを行うことができない点を指摘し、複数回の試行を可能とする代替モデルとして replayed games with unawareness の定式化を提案した。そのうえで、Sasaki (2015) が指摘した generalized Nash equilibrium (GNE) の認識的安定性に関して、認識的に不安定な GNE が実現した場合にその後のプレイにどのような影響を与えるのかについて分析を行った。

本稿ではその分析結果として、無限回の replayed games with unawareness に於いていくつかの仮定を設けた場合、有限回のプレイで認識的安定性を満たす GNE に到達することを示した。